

レベルクラスと国語科(→継承日本語科)の違い

注: 2016年度についてのものです。2017年度は変更となるものもあります。

	レベルクラス	国語科→継承日本語科(2017年度より名称変更)
1. 時間割	9:00~12:00 1時間目=9:10~10:25、2時間目=10:35~11:50	9:30~12:30 (※レベルクラスにきょうだいがいる場合の送り迎えを考慮しています)
	2014年度から「国語」と「総合」(算数・理科・社会・生活など)の2教科。	1時間目=国語的な要素、2時間目=算数的な要素、3時間目=実験・ゲーム
	「教科担任制」で、教科ごとに先生が変わる。	時間割が変わることもある(例:2時間目に実験を行い、3時間目に感想の作文を書く)
	レベル1~4はプラス補助教員、レベル1~5はプラス保護者ボランティア。	同じ先生が3時間すべて受け持つ。
2. 授業内容	文部科学省の学習指導要領に基づいたカリキュラム・単元選択。	教科書(日本人学校と同じもの)はレベルクラスと同じ時期に配布。
教科書・教材	国語の教科書(日本人学校と同じもの)を使用する。	国語は教科書も使用するが、単元選択の自由度が高い。書写・視写に力を入れている。
	「漢字ドリル」「ことばのきまり」「うつつまる」など市販の副教材も使用する。	プリントや実験器具などを使用。市販の副教材は使用しない。
	国語ノート(L1のみ)と連絡帳を各自用意。(共通ノートは補習校配布。)	ノートを各自用意する。
3. 学習スタイル	日本の学校のスタイルによる一斉授業。(先生の指示と板書を重視。)	参加型で活動的な授業スタイル。(ただし学習態度は厳しく指導。)
	決められた席につき、授業時間中は原則着席。	実験・ゲームの時間は席の移動などもある。
4. 授業内容	国語は教科書中心。補助的にプリント等で理解を深める。	単に教科書を使い漢字などを習うということだけではなく、日本語を使う楽しさを感じ、
宿題など	総合は主に教科担当の作成するプリントで授業。	多面的に理解を深めることも重視。「国語」をさまざまな角度から扱い、
	時々、実験・工作・料理など体験型の授業も行う。	算数・実験・パズル・ゲームなどを盛り込み、幅広い視点から日本語への興味を促す。
	宿題:漢字ドリルなどの副教材・プリント・音読など (*家庭で丸付け)	宿題:漢字プリント・書写・視写・音読など
5. 場所	油麻地 YMCA College of Careers (青年會專業書院)	銅羅灣 epis Education Centre
	23 Waterloo Road, Kowloon (入口は「Pitt Street」)	2/F, Redana Centre, 25 Yiu Wa Street, Causeway Bay, Hong Kong
6. 学校行事	3大行事(運動会・発表会・餅つき)は継承日本語科と合同で行う。	3大行事(運動会・発表会・餅つき)はレベルクラスと合同で行う。
	他の小行事は、他のクラス・上下の学年と合同やクラス毎で行う。	他の小行事(書初めなど)は、レベルクラスと別に行う。場所と準備の関係上、
	キャリア教育授業・チャリティーイベントなども開催。	比較的、行事の数は少なく、レベルクラスのみのものもある。